

新城市子ども園再編・整備計画（案）パブリックコメント実施結果

No.	ページ	提出された意見	市の考え方
1-1	-	千郷中子ども園はH28年あたりから現在地での建て替えか移転かで話があり、同年行われたアンケートでは現在地での建て替えを求める声が多かったと認識している。署名活動もあったはずだが、現在に至るまで進展がなかったのはなぜなのか。	千郷中子ども園の建て替えにつきましては、調整が難航し、他の子ども園整備への影響を考慮して一旦白紙に戻し、市全体の子ども園整備として検討することとしたものです。
1-2	75	子ども数の推移から千郷中、西を統合した場合の園児数は約130名となり1クラスあたりの人数は現在より増えることになると思う。国の定める保育士1人あたりの人数を守ったとしても、園児が増えれば目が行き届かなくなる可能性や、園児間のトラブルが増えたり、保育環境の悪化につながる可能性はないのか。	子ども園の再編によって1クラスあたりの園児数が増えることで、集団での育ちをはぐくむ機会を増やすことにつながると考えています。また、1園あたりの園児数が増えることで、集団で取り組む活動を充実させることができ、保育や教育の向上につながると考えています。そして、再編により1園あたりの保育士を効率的に充実した配置が可能となることが想定されるため、子どもたちの安全管理等、良好な保育環境が保たれるよう連携体制を整えてまいります。
1-3	75	①：R5年生まれの子どものがおり、現在千郷中子ども園へ入園を希望（申請済み）している。機能移転となった場合、西、東と選択肢があるが、園の希望は確実に通していただけるのか。希望が通らない可能性がある場合、現時点で既に希望園を変更する必要が出てくる。	再編を行った場合におきましても、これまでと同様に、全ての入園希望を受け入れることは難しいと思いますが、できる限り今までよりも入園希望に沿うことができるような体制整備に努めてまいります。
1-4	75	②：西子ども園は、新城市子ども園再編・整備計画（案）概要版に災害時の安全性に問題があるとなっており、その園への機能移転は避けるべきである。全ての中子ども園の機能を千郷東子ども園に移すのは規模的にも難しいのではないかと思います。新子ども園ができるまで、中子ども園を継続することが妥当ではないか。	千郷地区の子ども園の再編におきまして、ご意見にもありますとおり、千郷東子ども園へすべての機能を移転させることは困難となります。そこで、千郷中子ども園と千郷西子ども園を相対的に比較しますと、千郷中子ども園の園舎の方が老朽化が進んでいることや、千郷西子ども園は敷地付近に土砂災害警戒区域の指定があるものの、園舎からは離れていることから、千郷地区の新設園が建つまでの間、千郷西子ども園を継続することができると考えます。
1-5	75	③：①②や現在地での建て替え等に関し、入園していない0歳児の保護者も含め、対象の千郷地区で郵送アンケートの実施を行うてはどうか。現時点での希望園、移転した場合の希望園、継続を希望するか否か、等の保護者のニーズを把握していただきたい。	再編につきましては、これまで市民の皆さまからいただきましたご意見をもとに、総合的に判断してまいりました。今後、保護者の皆さまに対して丁寧に説明し、ご理解に努めながら着実に進めてまいります。
2	28 75	P28耐震基準不適合解消に向けたP75の実施計画では、千郷中子ども園（全部）及び千郷西子ども園（一部）、東郷東子ども園が新耐震基準を満たしていないことから、千郷中子ども園と千郷西子ども園を統合し、新園舎を5年後の令和11年（2029年）に建設することになっています。東郷東子ども園は、3年後の令和9年（2027年）に解体となっています。この間園児は、危険にさらされながら過ごすこととなりますが、対処策をどう考えていますか？ 私の提案として、耐震シェルターを設置するなどの対応策を考えていただきたい。また、他の園に園児を移すのであれば、早急に実施していただきたい。	耐震性に課題のある子ども園のみならず、すべての子ども園において、地震時のケガの原因となる棚などの転倒防止対策や窓ガラスの飛散防止対策、室内電灯などの吊り具の落下防止対策を既に実施しています。また、実施済みの対策におきまして、今一度、点検を実施した上で、必要に応じて安全対策の更新、追加を行います。ご提案いただきました耐震シェルターにつきましては、安全対策の方法のひとつとして参考とさせていただきます。
3-1	-	1. 保護者会について おそらく新城市のどの子ども園でも、保護者会が存在しているかと思えます。この保護者会について、計画に記載がありません。特に再編となる園においては、どのような統合の仕方をお考えおられますでしょうか？ 保護者会は自発的な組織なので、市としては各自で話し合っしてほしい、と言ってしまえばそれまでですが、ある程度は市にもご協力いただかないと、上手くいかないのではないかと、思っています。 例えば、 ・再編予定の園ごとに、保護者会がどのような予算で、どのような年間行事を行っているのか、アンケートをとり、お互いに共有する ・再編の2年程度前から、再編予定の園の、その年の保護者（有志でも可）が集まって話し合うような場を設ける、 などです。 計画にも記載のあるとおり、共働きの家庭が増え、両親のどちらにとっても、保護者会に参加すること自体が負担になっています。それでも、子ども達に楽しい思い出を作りたい、親子や地域の関わりを大切にしたい、との思いから、個人個人が努力して（ある種の義務感もあり）、保護者会活動を継続しているのが現状かと感じています。 そのような中で、再編に際しての保護者会の在り方について、その年の保護者会メンバーに任せるのは平年以上の仕事が発生することになり酷かと思えますし、結果、親同士のコミュニケーションが上手くいなくなる可能性すらあると思えます。 市にすべて決めてほしいという訳ではないですが、誰かが音頭を取らなければ、事前の話し合いの場すら持てない可能性があります。 ぜひ、再編・整備計画を考える際に、保護者会についてもご検討いただきたいと思います。	各子ども園の保護者会同士のつながりに関しましては、各子ども園の保護者会代表者間の交流並びに子どもと保護者のニーズや意見の把握を行い、子ども園における保育・幼児教育など質の向上に活かすことを目的とし、子ども園等保護者会代表者連絡会を開催しています。再編等につきましても、当連絡会におきまして、話し合いの機会を設けていきたいと考えています。
3-2	-	2. 長篠子ども園の駐車場について 資料にもあるとおり、ほとんどの保護者が自家用車で送迎をしている中で、駐車場は子ども園の大切な設備の一つと考えます。 長篠子ども園の駐車場について、舗装などを実施いただけないでしょうか？ 他園の状況はわかりませんが、長篠子ども園の駐車場については、保護者会が整備、維持管理をしています。具体的には、草刈り、軽自動車専用や後向き駐車場の看板の設置、毎年ではないもののトラロープの張り替え（砂利のため、すぐにロープの視認性が下がってしまいます）、です。保護者会は、本来自発的な組織であり、ある意味いつ無くなってもおかしくありません。そのような組織が、駐車場の整備をほとんど行っていることは、問題ではないでしょうか？ 駐車場の使いやすさは、園児の安全に直結すると考えます。（停めにくい駐車場では、車の無駄な動きが増えるため。） 近い将来、再編により現在の鳳来、山吉田、大野が長篠子ども園に統合されるとのこと、駐車場を舗装したり、年に何回か草刈りを市にて実施いただくなど、まずは保護者と市が協力して駐車場の維持管理を行ってほしいか、ご検討いただきたいと思います。	長篠子ども園の駐車場につきましては、再編の中の受け入れ園としての改修などと合わせて、舗装の実施や防草シートの設置などの安全対策や環境整備を考えてまいります。

No.	ページ	提出された意見	市の考え方
4	1 75 84	<p>私は舟着地域に住むものとして、舟着こども園の廃止計画に反対します。以下の理由から、こども園の廃止は地域社会と子どもたちに深刻な影響を及ぼすと考えます。</p> <p>まず、p11にあるように、今計画の背景として、「本市では総合的な公共施設管理の計画として「新城市公共施設等総合管理計画」を定めており、令和28年度までに建築物系施設の延床面積を30%程度縮減することを目標としています。」とあるように、結局、経費の削減のために多種類の施設（例えば老人福祉センターの廃止）と同じように、こども園を削減の対象としている点です。</p> <p>財政上の理由でこども園を廃止することには疑問があります。確かに公共施設の維持には費用がかかりますが、子どもたちの健全な育成と地域社会の維持・発展を考えると、こども園の存在は重要です。また、こども園は地域コミュニティの核となる存在です。こども園が廃止されると、地域住民間の交流の場が失われ、地域社会の結びつきが弱まる可能性があります。将来的な費用削減を優先するあまり、現在の子どもたちや地域社会に負の影響を与えることは避けるべきです。</p> <p>実施計画はP75にまとめられています。具体的な再編・統合（園数の縮小）の理由はいろいろ述べられていますが、結局、耐震を含む施設の老朽化と施設の維持であり、お金がかかるということに尽きるようです。廃園とされる園には、「他園への保育機能の移転によって、現在と変わらないから大丈夫」と説明していますが、保育機能の中には、園までの近さということがあるということが保証されていないようです。地域の中にこども園があるということは、保育の原点に帰って考えると、両親の働く家庭において不可欠の条件の人もいるでしょう。その意味では従来の保育機能は保証されていないのです。この解決として、地域に「小規模保育園を開設する」や、園の廃止地域では、「各家庭から新しい保育園まで、保育バス等で送迎する」などの施策を取るべきではないでしょうか。また、P84にあるように、こども園と小学校との複合化が重要と言いつつ、今回のこども園の再編計画には含まれていないことも問題でしょう。</p> <p>また、「令和12年度に旧吉川こども園の解体を行います。」とありますが、旧吉川こども園は完成後29年しか経過していない、耐震の建物です。この公共物を維持管理の視点のみで取り壊すのは誠にもったいなく、無駄なことで、むしろ有効活用として、何らかの「機能移転」の対象とすればよいのではないのでしょうか。これも「30%程度縮減」のための、数字合わせのための犠牲と言えるかもしれません。</p> <p>以上の理由から、私はこども園の廃止計画に強く反対し、地域コミュニティの維持と子どもたちの健全な成長を最優先に考える政策を求めます。こども園の再編や廃止に関しては、はじめから、こども園の廃止を前提にせず、慎重に考慮した上で進めていただきたいと強く願います。</p>	<p>本計画につきましては、本市の財政上の理由のみならず、人口減少や保育士不足、建物の老朽化や敷地の安全性など、こども園が抱える課題を整理し、長期的な視点にもとづく計画的な整備と再編により課題解決を目指すものとしています。</p> <p>なお、舟着こども園の再編につきましては、本計画の見直し時期に改めて園の状況を踏まえた上で、保護者をはじめ、地元の方々と協議させていただきたいと考えています。</p>
5	-	<p>◎子ども園が合併する事によって送り迎えの負担が増える地域への対策が必要だと思う（スクールバスなどを検討しても良いと思う）</p> <p>◎送り迎えの道路などの整備が必要だと思う（新城子ども園の道は雨が降る度に木の枝などが落ちています。また、先日木が倒れて通れない事があったため）</p> <p>◎地震、大雨等、緊急時のお迎えの時、保育園の子どもに、小学校、中学校に兄弟がいる場合離れた場所だと同時にお迎えに行けない。その場合に別の避難場所へ移動させるのか等の対策をとってほしい。</p> <p>◎保育園と習い事等の一般の企業が提携して（スイミング、習字、英会話）保育園にお迎えに来てもらう、又は保育園で習い事が受けられるようにする △課外授業として位置付け、希望者には有料で習い事を受けてもらうことができ、親の送り迎えも軽減される。</p> <p>◎保育士の人員不足の解消のためにも保育士ではなく外部の方達にプールの指導などを任せる事も今後必要だと思う</p> <p>◎保育士の給料等の条件を良くして保育士の数を増やす △保育士自身も預ける親も安心して働ける環境がないと子どものいる女性が働くことが難しくなる 女性雇用の問題を考えるのであれば、保育士を含めた保育園の条件を整えるのは必須だと思う</p>	<p>こども園の運営にかかる貴重なご意見として承ります。</p> <p>また、本計画の推進におきまして、通園の利便性の確保をはじめとする保護者の皆さまの負担軽減や保育士業務の負担軽減により保育士の働きやすい環境づくりに努めてまいります。</p>